

2025 年度ちばSSKプロジェクト等に関する取り組み報告書

2026 年 4 月 29 日

* 数値は 2026 年 3 月 20 日時点

1. 報告

生活協同組合コープみらいの 2025 年度「ちばSSKプロジェクト等に関する取り組みの年間計画」に基づく、ちばSSKプロジェクトに関する活動状況を報告します。

2. 2025 年度計画のまとめ

生活協同組合コープみらいは、商品の宅配など日々の業務と組合員の活動を通して、高齢者の見守りをはじめとする「ちばSSKプロジェクト」の取り組みに協力しました。

I 高齢者の見守り

(1) 県内の全市町村と締結している高齢者の見守り協定に基づき、コープデリ宅配・店舗事業の中で異変を発見した際に、市区町村や警察等へ通報します。

▶2025 年度に宅配事業と店舗事業において、業務中に異変などを発見し、通報した件数は 89 件（宅配 78 件、店舗 11 件）でした。

【通報事例】

・夕食宅配利用組合員宅(83 歳)に配達に伺ったところ、先週にお届けした商品が残っていました。インターフォンを押しても反応がなく、その場で登録されている電話番号に電話をしましたが、連絡が取れませんでした。16 時過ぎに再度連絡するも連絡が取れていない為、地域包括センターに連絡をしました。

・コープみらい店舗で買い物を終えた組合員が会計後、急に体調が悪くなり倒れそうになったためパイプ椅子に座っていただきました。右半身が動かせず呂律も回っていない状況のため救急車を呼びました。会員カードから、名前、連絡先、住所など確認し救急隊の方にお伝えし、病院へ運んでいただきました。

▶コープみらいの移動店舗ふれあい便では、袖ヶ浦市にあるミニコープ蔵波店を拠点に、市原市、木更津市、君津市の買い物が困難な地域や高齢化の進んだ団地、高齢者施設等の停留所を週 1 回巡回し、高齢者の買い物を支援しました。

(2) 各自自治体が開催する高齢者の見守りに関する会議に参加します。

▶新地域支援事業に関する会議

・四街道市たすけあい連絡会

▶高齢者見守り等に関する会議

・千葉市孤独死防止通報制度連絡会議（書面報告）

・松戸市高齢者見守り活動に関する協定書締結事業者定例会（活動実績報告）

- ・習志野市高齢者見守り事業者ネットワーク会議（会場参加）
- ・一宮町地域支援ネットワーク会議（会場参加）
- ・鎌ヶ谷市高齢者見守り支援会議（会場参加）
- ・印西市地域ケア会議（会場参加）

Ⅱ 「ちばSSKプロジェクト」

- （１）「ちばSSKプロジェクト」の施策を周知するために、組合員情報紙「ちばインフォメーション」（県内 30 万部発行）等の広報媒体の中で、「ちばSSKプロジェクト」について紹介します。
- ▶「ちばインフォメーション」8 月 18 日号に、「ちばSSKプロジェクト」の紹介とともに、コープデリ宅配にて離れて暮らすご親族に配達情報をお知らせするサービスがあることを紹介しました。

Ⅲ 認知症対策

- （１）職員や組合員、地域の方を対象に、認知症サポーター養成研修を実施します。
コープみらいでは、2009 年度より採用時研修の中で認知症サポーター養成講座を実施しています。また、各事業所の責任者が認知症サポーター養成の講習ができるように講座を受け、各事業所で講習を行なっています。認知症に対する知識と理解を持って、地域における見守り活動を進めています。オンラン講座を実施し、新たに 19 人のサポーターを養成しました。

Ⅳ 高齢者の生きがい、健康、仲間づくり

- （１）組合員と地域の方が気軽に参加できる“地域に開かれた笑顔あふれる居場所”「みらいひろば」を県内各地で開催し、高齢者も含め多世代間の交流を進めます。
- ▶年間でのべ 646 会場で開催し、4,282 人が参加しました。誰もが自分らしく居られる「地域の居場所」として、日々の暮らしに寄り添うつながりを育んできました。新しい仲間や新しい会場との出会いにも恵まれ、輪が広がっています。輪を囲んで試食交流で「おいしいね」と言い合える喜びや、共通の製作やスポーツ、ボランティアなどが、交流をさらに楽しく、充実したものになっています。

【みらいひろばでの事例】

月に 1 度コープ市川店で開催しているみらいひろば市川では、食品メーカーや地域の社会貢献団体（ゆずりばいちかわ）、ボランティア活動（切手整理ボランティア）などを通して多世代交流や生涯学習の拠点となっています。直接会って話すからこそ生まれる地域の発見や、心地よい距離感での交流を大切にしています。ここに来ると、新しい気づきや安心感が見つかる。そんな「あつてよかった」と思える居場所を、みんなで育んでいます。多世代が自然に集まり、好きなことや「やってみたい」を形にする場所になっています。

- （２）組合員と地域の方のグループ活動を応援する「地域クラブ」の制度を通して、高齢者の生きがい、健康、仲間づくりを応援します。
- ▶「地域クラブ」の登録数は全体で 864 件（全世代含む）となり、高齢者を含めて食・健康・福祉などをテーマに生き生きと活動しています。また、高齢者のくらしをサポートする活動も活発に行なわれています。

【地域クラブの事例】

地域クラブ「姫雀」は5～6年前から友だちの家で脳トレ気分で、麻雀をしていました。その輪が広がり今では公民館で、毎月第1.第3木曜日の午後、地域の高齢女性たちで、情報交換やご近所の安否確認をしながら楽しくやっています。

全員が集まることはなかなか難しいのですが、みんなでわいわいガヤガヤと活動しています。脳トレ麻雀だけではなく、ご近所の高齢者や一人暮らしの人たちを気にかけています。

おおげさなことではなく、情報交換として「あの方を最近お見かけしないわ」「お見かけしましたよ」とか、散歩するときは積極的に挨拶をし、声掛けをしています。地域の人たちと楽しく安心して生活できるように、つながりを大切にしています。

(3) 出前授業（食育・環境・防災・減災等）を、高齢者向けに実施します。

▶地域からの依頼に応じて、食育プログラムを9会場128人、防災・減災プログラムを20会場419人、環境プログラムを3会場42人に実施しました（千葉県の食育サポート企業に登録しいきいきシニア食育プログラムを提供）。

▶千葉市主催の高齢者を対象にしたスマートフォン講座でお買い物支援講座を6回49人に実施しました。

(4) 自治体の進める「生活支援体制整備事業」への貢献を目的に、一層・二層の協議体への参加、地域包括ケアシステムにおける地域コミュニティへの参画や社会福祉協議会との協働を進めます。

▶第一層・第二層協議体への参加は、「2. 各自治体が開催する高齢者の見守りに関する会議に参加します。」の報告に記載したとおりです。

▶支援を必要としている生活困窮者のため食品等支援を行っている白井市・八街市・佐倉市・君津市・成田市・市川市・千葉市・市原市・習志野市の社会福祉協議会へ合計17468.4kgのお米や食品等を寄贈しました。

V 高齢者の安全、安心

(1) 千葉県くらし安全推進課と連携し、情報紙「ちばインフォメーション」に高齢者の消費者被害防止に向けた啓発記事を掲載します。

▶「ちばインフォメーション」に、「消費者被害防止」「交通安全運動」等に関する啓発記事やイベント等の情報を計8回掲載しました。

▶「みらいひろば」の参加者向けに配布する通信にて「インターネットを介して起きた消費者トラブルの事例」について掲載し、家族への注意喚起を呼びかけました。

▶ちばし消費者応援団への登録から消費者被害の情報の提供を行ないました。

以上